

平成 27 年版成果レポートについて（案）

1 構成

平成 27 年版成果レポートは、「みえ県民カビジョン・行動計画」に基づいて取り組んできた施策等について、平成 26 年度の実績や目標達成状況をふまえた上で、平成 27 年度の数値目標や取組方向を明らかにするものです。

（平成 27 年版成果レポート構成案）

	知事あいさつ
第 1 章 平成 26 年度 の 県 政 運 営 と 平 成 27 年 度 の 経 営 方 針	<p>(1) 平成 26 年度を振り返って</p> <p>(2) 平成 26 年度の主な取組 みえ県民カビジョンに掲げる「政策展開の基本方向」に沿った 16 の政策にかかる主な取組（行政運営の取組を含む）</p> <p>I 『守る』～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～</p> <p>II 『創る』～人と地域の夢や希望を実感できるために～</p> <p>III 『拓く』～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～</p> <p>IV 行政運営の取組</p> <p>(3) 平成 27 年度三重県経営方針 * 案について議会に同時に提出しているため、掲載を省略 <参考> 県民の皆さんの「幸福実感」について （「第 4 回みえ県民意識調査」の概要）</p>
第 2 章 施策の取組 第 3 章 選択・集中プ ログラムの 取組 第 4 章 行政運営の 取組	<p>(1) 政策体系とは、選択・集中プログラムの取組とは、行政運営の取組とは</p> <p>(2) 政策体系一覧、選択・集中プログラムの取組一覧、行政運営の取組一覧</p> <p>(3) 各数値目標等一覧</p> <p>(4) 各評価表の見方</p> <p>(5) 各評価表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民の皆さんとめざす姿 ・ 平成 27 年度末での到達目標 ・ 評価結果をふまえた施策の進展度と判断理由 ・ 県民指標等及び活動指標等の目標値、実績値及び達成状況等 ・ 予算額等 ・ 平成 26 年度の取組概要 ・ 平成 26 年度の成果と残された課題（評価結果） ・ 平成 27 年度の改善のポイントと取組方向 <p>※ 第 2 章施策の取組については、「（3）評価結果をふまえた進展度の判断基準及び目標達成状況の算出方法について」を追加し、（4）以下、項目番号が一つずつずれずれます。</p>
参考	用語説明

2 前年度からの変更点

- (1) 第1章において、「三重県経営方針に掲げる『政策展開のポイント』にかかるとる主な取組」を省略

3 今後の予定

- (1) 県議会の6月定例会議に提示。
- (2) 7月中旬を目途に、県ホームページ及び冊子にて公表。

今後の予定（案）

月 日	事 項	議 会	各 部 局
5月29日	政策会議		
6月3日 (予定)	平成27年版成果レポート (案) 議会提示	全員協議会で調査	
6月中旬		各常任委員会で詳細 調査	各常任委員会対応
7月上旬	成果レポート正本印刷		
7月中旬	成果レポート公表		
7月13日		予算決算常任委員会 (委員間協議)	
7月下旬		知事への申し入れ	
9月中旬	知事への申し入れに対する 議会への回答	全員協議会で調査	
10月上旬		各常任委員会で詳細 調査	各常任委員会対応

4 配布

- ・本庁舎他で配布するほか、市町や関係団体等へ配布。

平成 27 年 5 月 29 日
総 務 部

平成 27 年度 事業改善に向けた有識者懇話会（ブラッシュアップ懇話会）の開催について

1 対象となる施策

平成 27 年版成果レポート（案）において、進展度がCもしくはDとなっている施策で、昨年度対象としたものを除く。

	施策 番号	施策名	所管部
1	132	交通安全のまちづくり	環境生活部
2	151	地球温暖化対策の推進	環境生活部
3	251	南部地域の活性化	地域連携部

* 354:水資源の確保と土地の計画的な利用は平成 26 年度に対象としたため除く。

2 外部有識者

(1) すべての議論に参加する外部有識者は、下記の 2 名

氏名	職名
小林 慶太郎 (こばやし けいたろう)	四日市大学総合政策学部 総合政策学科長 教授
朴 堯星 (ぱく よすん)	情報・システム研究機構 統計数理研究所 助教

(2) 施策ごとの有識者は、今後該当部局において選定。

3 日程

有識者に対する事業説明 7月中旬を予定（個別対応）
有識者からの意見聴取 7月27日(月)を予定